

支え合いが育む・地域の和

ふれあい馬宮

2014年5月号 (通巻 第36号)

発行者 馬宮地区社会福祉協議会 代表 矢部恒男

所在地 さいたま市西区西遊馬533-1 馬宮コミセン2階

電話&FAX 048-626-2766



振込めサギ被害予防に聞き入る高齢者

26年度総会開催、行動計画の具体化

動き始めた地域のボランティア活動

馬宮地区社協会長 矢部 恒男



緑の風の心地よい季節となりましたが、地域の皆様には、日々ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

新年度、会長をおおせつかりました。馬宮地区社協全員一体となり、協力団体と協働のもとに、課題に取り組みます。地域の皆様のご指導ご協力をお願い申し上げます。新聞TVの報道によりますと、我が国の高齢化は予測通り進み、65才以上の人口が全体の1/4を超えました。さらに少子化も進み、平成20年をピーク（一億2808）に、日本の人口は、減少期に入り、推計では85年後には4959万人に。最低3795万人まで減少が進むとのことです。年令別構成は少しずつ変わるとしても、労働人口が最大の政治課題となった時、高齢者の福祉問題は条件が悪化しつつ残り、女性の労働力の必要から、少子化子育て支援問題も最重要課題となります。

馬宮地区社協の「地域福祉行動計画」には、他のテーマを含め、この二つの命題を掲げています。ボランティア活動を含め、早期に行動を起こさなければなりません。昨年、事務所機能の改善について検討していましたが、本年度から馬宮地区社協の「ホームページ」を開設します。これによりパソコンをお持ちの各家庭から、馬宮地区社協の現況・事業実績や計画等を知ることができるよう改善されます。（しばらくの間オペレーターの習熟期間が必要で、開始時期は別途お知らせします）

新副会長

岡田 悟



（馬宮地区民生児童委員協議会会長）

木下 國臣



（馬宮地区自治会連合会副会長
総務部会兼務）

馬宮地区社協定期総会開催

4月29日、馬宮公民館にて「社協定期総会」を開催。三浦康男氏を議長に選出、議案が審議された。今回の大きな議案は常任理事制度の廃止に伴う会則の改訂でしたが、それを含む提出された全ての議案が承認された。多くの来賓の方々の中、中村区長、吉田区社協所長等の祝辞を頂き、行政と地域が協力しあう事を再確認した。また矢部会長からは「今後益々進む少子高齢化に対応する為に、地域住民を含む関係者が協力しあうこと」と挨拶。



65歳以上対象

介護予防健康教室&ペットボウリング大会

平成26年6月28日（土）午後1時半

馬宮コミセン 多目的ホールにて

定員150名 参加無料

申込は老人会を通して又は直接社協へ

馬宮地区社協 電話626-2766

※長寿応援制度シール配布します

平成26年度馬宮地区社協役員名

会長	矢部 恒男	副会長	岡田 悟	民生児童委員	木下 國臣	自治会長	関根ゆかり	主任児童委員・市社協
理事	川添 修司	自治会長OB	民生児童委員OB	自治会OB	三浦 康男	民生児童委員	自治会OB	
監事	下田 又夫	自治会長	都築 康介	自治会長	伊藤 彰	菅原 良二	坂本 朱美	篠田 秀代
役員	都築 義男	自治会長OB	民生児童委員OB	自治会OB	小玉 秀生	武上 予吏子	磯崎 千佳子	高橋 清子
	小林 智海	安掛 セツ子	清水 康男	常田 秀子	甲田 昌晴	中野 治代	武笠 精一	山川 悦子
	鈴木 映男	田崎 良雄	斎藤 栄司	新井 規之	小峰 賢三	浦野 邦夫	古瀬 和夫	相談役
	黒岩 清	（馬宮地区自治会連合会会長）	内野 勲	（民生児童委員OB・自治会長OB・前社協会長）	顧問	青木 一郎	（青少年育成馬宮地区会会長）	伊藤 寛
	松澤 隆	（馬宮公民館長）	山本 憲一	（馬宮コミセン館長）	荻田 哲男	（馬宮中学校長）	加藤 りさ	（土屋中学校長）
	佐々木 清隆	（馬宮東小学校長）	山田 尚弘	（馬宮西小学校長）	桑原 啓一郎	（栄小学校長）		

できることから始めよう

馬宮団地自治会による「介護保険」をテーマにした説明会開催の様子。当自治会では昨年と同様に暑い夏の時期、集会所の無料開放も行なう予定だ。



並木恵一 記



右岸4自治会連合会議
飯田新田・塚本・馬宮団地・湯木自治会

もともと人口が少なく、何かにつけて不便さを感じることの多い右岸だが、進む高齢化に拍車がかかり、こと見守りに関しては危機感さえ抱くまでに。そこで右岸地区全体の問題として捉え3月5日、4自治会連合会議を開催、地区民生委員も加わり意見交換を行なった。今後も定期的に実施する方向で検討中だ。写真は馬宮団地自治会による「介護保険」をテーマにした説明会開催の様子。当自治会では昨年と同様に暑い夏の時期、集会所の無料開放も行なう予定だ。

地域で進めるボランティア活動 プラザ地区「ささえ愛プラザ」

去年12月より誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる街を目指し住民有志によるボランティアグループ「ささえ愛プラザ」を立ち上げました。地域の高齢者、身体の不自由な方、子育て中の方々のちょっとした困りごとの手助けにしたい。具体的な活動は、買い物付き添い、掃除（ゴミ出し、窓ふき、庭掃除）修理、電球交換、家具の移動、草取り、買い物代行、雪かき、話し相手等。現在は無料ですが今後有料も検討中です。

三浦康男 記



「二ツ宮のサンマ：ボランティア」
二ツ宮南区自治会

9月に行う防災訓練では例年、豚汁作りアルファームの炊き出しを行っているが、3年程前から始めた「目黒のサンマ」ならぬ「二ツ宮のサンマ」祭りが自治会のコミュニケーション作りに役に立っている。炭火を起こし、脂のたっぷり乗った新鮮な大サンマ250尾を皆でワイワイ言いながら堪能。温暖化で海流の流れが変わり、仕入れ時期に苦労はあるが、参加者が増え、コミュニケーションの和が広がっている。ボランティアとして協力できる喜びがある。

平成25年度決算報告・26年度予算

平成25年度決算報告		
(1) 収入の部(単位:円) 平成25年4月1日～平成26年3月31日		
科目	金額	摘要
前年度繰越金	2,411,131	
募金配分金	1,981,965	
敬老会	2,932,600	
市交付金	2,292,000	さいたま市より
自治会連合会	640,600	自治会連合会より
事業費	379,000	事務所経費・事業費
雑収入	342,866	寄付金・利息
募金	3,766,327	
合計	11,813,889	
(2) 支出の部(単位:円)		
科目	金額	摘要
事務所経費	466,112	
消耗品費	160,419	コピー・印刷機インク・用紙他
通信費	81,225	電話/ネット代・郵便代
備品費	106,780	備品・保守料 他
会議費	117,688	会場使用料金・お茶代等
事業費	4,483,942	
敬老会	2,900,370	自治会助成金・記念品
会食の集い	208,908	さくら草助成・会食サービス
レク・その他	633,355	福祉講座・絆コンサート他
各種団体共催	110,000	馬老協・サロン他
慰問事業	210,000	高齢者・障害者への配分金
研修費	330,823	合同研修
総会費	90,486	総会費料代・お茶・郵送料他
広報費	404,028	印刷代・取材費・送料他
募金	3,766,327	
渉外費・雑費	54,180	慶弔費 他
予備費	2,639,300	次年度へ繰越
合計	11,813,889	
平成26年度予算		
(1) 収入の部(単位:円) 平成26年4月1日～平成27年3月31日		
科目	金額	摘要
前年度繰越金	2,639,300	
募金配分金	1,980,800	
敬老会	2,932,000	
市交付金	2,292,000	さいたま市より
自治会連合会	640,000	自治会連合会より
事業費	379,000	事務所経費・事業費
雑収入	40,000	寄付金・利息
募金	3,764,000	
合計	11,735,100	
(2) 支出の部(単位:円)		
科目	金額	摘要
事務所経費	820,000	
消耗品費	160,000	コピー・印刷機インク・用紙他
通信費	100,000	電話/ネット代・郵便代
備品費	40,000	備品・保守料 他
会議費	120,000	会場使用料・お茶代等
事務所改装費	400,000	社協事務所改装
事業費	4,410,000	
敬老会	2,950,000	自治会助成金・記念品
会食の集い	240,000	さくら草助成・会食サービス
レク・その他	600,000	福祉講座・絆コンサート他
各種団体共催	110,000	馬老協・サロン他
慰問事業	210,000	高齢者・障害者への配分金
研修費	200,000	合同研修
総会費	100,000	総会資料代・お茶・郵送料他
広報費	400,000	印刷代・取材費・送料他
募金	3,764,000	
渉外費・雑費	55,000	慶弔費 他
予備費	2,286,100	次年度へ繰越
合計	11,735,100	

平成26年度事業計画（共催を含む）

定期総会
募金（日赤・共同・歳末たすけあい）賛助会費募集
広報紙発行（年3回）
馬宮地区老人クラブ主催「グラウンドゴルフ大会」
馬宮地区合同研修会
健康福祉事業「ペットボウリング大会」
青少年育成馬宮地区会主催
「世代間ふれあい交流グラウンドゴルフ大会」
包括支援事業（講演会・福祉教室・ふれあい事業等）
地域福祉行動計画進行管理委員会
見守り推進委員会
会食サービス事業・宅配食事サービス事業

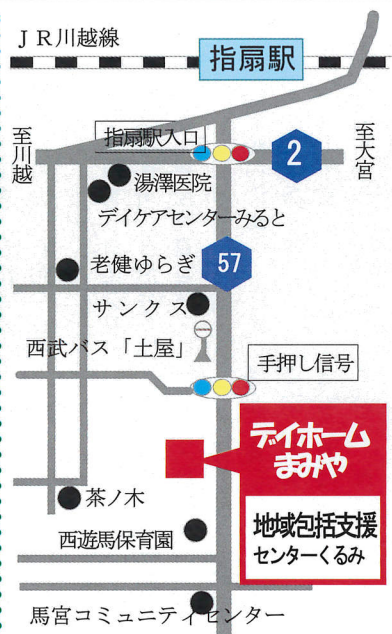
ご存知？

認知症ケアサポート
「オレンジカフェ西遊馬」オープン

団塊の世代が後期高齢者を迎える10年後に向けて安心して住み慣れた地域で医療・介護を受けながら生活を継続する「地域のケアシステム」の構築が全国的に進んでいる中、支援の一つに認知症カフェ：通称オレンジカフェの普及がある。これは認知症の方や家族・介護者・地域住民等誰もが集える居場所作りを通し、ご本人や介護者の心身を満たすと共に地域住民の認知症に対する理解を深める場を提供するというもの。この4月、馬宮地区内にもオープン。既に反響を呼んでいる、出掛けてみてはいかがでしょう。

▼日時 毎月第3土曜日 11～14時（時間帯なら何時でも可）▼場所 通所介護施設デイホームまみや▼参加無料▼駐車場（15台程度）完備▼送迎あり（要連絡）▼食べ物、昼食持込み可▼昼食希望の方は前日迄に要連絡（有料）

問合せ 南部圏域地域包括支援センター
電話 048(622)8103



編集後記

年度が無事終了、第三次社会福祉行動計画も2年目を迎え、馬宮社協もふれあい馬宮も更なる充実を。当社協で20年間活躍された清水宏様が3月末で卒業された。長年この編集後記を担当され、楽しみにしていた読者も多かった。長期に渡ることが尽力に感謝。今後は部員持ち回りで担当。